

J R 芦 屋 駅 南 地 区

まちづくり協議会 NEWS

第 36 号

令和 7 年 1 2 月

〔発行〕JR 芦屋駅南地区まちづくり協議会

『第12回JR芦屋駅南地区まちづくり協議会総会』を開催しました！

11月22日（土）に芦屋市民センターにて「第12回JR芦屋駅南地区まちづくり協議会総会」（以下、「総会」とします。）を開催しました。当日は高島市長にもご出席いただきました。

事務局より第1～3号議案の説明がありましたが、一部反対の方がおられたため全て否決となりました。（議案の詳細は裏面をご覧ください。）

なお、第3号議案の否決により役員は現役員が暫定で引継ぐことになりますが、事前の役員会で会長の交代が決定していたことから新たに高橋会長が就任されました。

また、再開発事業の進捗に伴い、本協議会は一定の役割を終えたものとして、令和5年の総会では本会の解散に関する議案を提出しましたが否決された経緯があり、今回は第2号議案で休止の議案を提出しましたが否決されました。これらの経緯も踏まえ今後も本会は存続しますが、当面の活動は未定です。

その後、市より再開発事業について、現時点の全体工程や公益施設に係る方針変更等の報告がありました。最後に、質疑応答や意見交換が行われました。

第12回総会の様子
（14名出席）



高島市長のご挨拶



本日は「第12回 JR芦屋駅南地区まちづくり協議会 総会」にお集まりいただき、ありがとうございます。

まちづくり協議会の皆さまにおかれましては、日頃より「JR芦屋駅南地区再開発事業」について、多大なご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本日は、総会にて予定されている議事の後に、市から再開発事業の現状等について、ご報告させていただき、最後には、質疑応答と意見交換の時間も頂いております。どうぞ宜しくお願い致します。



第12回総会の議案について

●第1号議案

令和6年度 活動報告（要約）

日付	活動内容
R6.05.08	第55回役員会
R6.06.01	第11回総会
R6.09.13	第56回役員会
R6.09.28	JR芦屋駅南地区まちづくり協議会説明会
R6.11.16	JR芦屋駅南地区まちづくり協議会説明会
R7.02.01	JR芦屋駅南地区まちづくり協議会説明会

●第2号議案

今後の活動方針（案）

再開発事業の進捗状況を鑑み、本会の活動を休止する。

ただし、活動の必要性が生じたときに備え、事業が完了するまでは本会を存続させることとする。なお、事業が完了したときは自然解散することとする。

（理由）

本再開発事業は、会員各位のご理解とご協力により、いよいよ本格的な工事着手に向けた準備が進められている段階になりました。従って、本協議会の目的である「早期の事業化を図るために必要な事項を、市と協働で具体的に検討し、決定していくこと（規約第3条抜粋）」に関しては、一定の役割を終えたといえます。

しかし、令和8年1月頃から再開発ビル等の本格的な工事に着手すると聞いていたことに関しては、遅れが生じていると市から伺っております。

このことを踏まえると、本協議会の解散は時期尚早と考え、活動は休止するものの、活動の必要性が生じたときに備え、存続させることとします。

●第3号議案

令和7年度 協議会役員の承認について

氏 名	
喜田 清左衛門	田中 肇
馬淵 陽介	大竹 吼一
高橋 洋一	



質疑応答・意見交換

- まちづくり協議会を休止することは規約上可能なのか。

（事務局）規約の附則に、この規約に定めのない

事項及び疑問が生じたときは総会の討議を経て承認を受けるものとする」と記載がある。また、事前に役員会で諮った上で今回議案を提出している。

- 再開発ビル3階の公益施設の間取りについて、事業計画の変更等の手続きは必要なのか。

（事務局）事業計画と管理処分計画は変更が必要のため、縦覧の手続き等も含め、今後協議を重ねていく。

- 工期が遅れることに不満はあるが、再開発ビル3階を公益施設として確保することは良いと思った。芦屋らしい施設を造ってほしい。

（市長）この再開発事業は駅前の交通を整理するという目的も大きい。3階の公益施設も重要と考えている。交通の結節点たる駅前にワンフロアを確保し、図書館などの市民の方が集えるような市民のための施設を創りたい。議会の賛同を得ることも含め、市一丸となって進めたい。

- 多世代交流についての考えを聞きたい。

（市長）私が就任した時に提唱した本再開発事業に関する5原則の中の「集える」は、多世代交流も含めている。特定の人達や世代に偏るのではなく、全世代多世代を大切にしていきたい。

- 他市の事例を考慮すると、駅前に「集える」場所を作ること難しい。人が寝転んで過ごせるような駅前広場であれば維持費も抑えられて良い。5原則で「地権者の生活を守る」と提唱しているが、信用できない。

- 建設業界では建築費用が上昇傾向にあるが、今の予算で収まるのか。

（事務局）事業費が増加していることを市議会等に説明するが、その金額は建設物価や人件費の高騰を踏まえて積算しているため、今後大きな乖離は生じないと考えている。また、再開発ビルの建築を行うゼネコンから最終的な見積金額が提示される際には、金額が妥当か精査する。

- 建物を完成させて終了ではないため、「持続可能」をテーマとした施設の活用方法や管理運営についても、今後検討を求める。

※詳細な議事録が必要な方は下記までご連絡ください。

■お問い合わせ先

JR芦屋駅南地区まちづくり協議会
（事務局）〒659-8501 芦屋市精道町7-6
芦屋市都市政策部都市基盤室都市整備課
☎ 0797-38-2074
FAX 0797-38-7974
HP: <http://www.city.ashiya.lg.jp/gairo/jrashiyasouth.html>

JR芦屋駅南地区のまちづくり
についてご紹介しています！

JR芦屋駅南地区

検索